



校訓 明るく 強く 睦まじく

学校だより No.10

このとり

《学校教育目標》

「する自分」となり

「在りたい自分」と「在りたい未来」を創造する子の育成
～さわやかに しなやかに すこやかに～

2026(R8)年1月23日 豊岡市立田鶴野小学校

「する自分」を育てるということ

田鶴野小学校では、学校教育目標を端的に表すキーワードとして「する自分」を掲げ、日々の教育活動の中で、このキーワードを折に触れて大切にしてきました。三学期も折り返しを迎え、年度のまじめに向かう今、子どもたちの姿を思い浮かべながら、あらためてこの言葉について考えてみたいと思います。

私たちが大切にしている「する自分」とは、言われたことをそのまま行う自分や、誰かに決めてもらって動く自分のことではありません。自分なりに考え、迷いながらも「やってみよう」と一歩を踏み出す姿です。うまくいったかどうかよりも、そこに向かおうとした気持ちや過程そのものに、子どもの育ちが表れていると感じています。

三学期は、一年間の学びを生かしながら、次の学年、次の自分へとつながっていく時期です。学校生活の中で、子どもたちは毎日小さな選択を繰り返しています。友だちとの関わりの中で迷ったり、思うようにいかず立ち止まったりする場面も少なくありません。しかし、そうした経験の積み重ねが、「次はどうしよう」と考える力につながっていくのだと思います。

今の時代、あらかじめ用意された正解だけで進める場面は、決して多くありません。だからこそ学校は、答えを急いで示す場所であるよりも、考え、話し合い、試してみることができる場所でありたいと考えています。うまくいかなかった経験も含めて、「やってみた」という事実そのものが、子どもたちの次への力になっていきます。

そのため私たちは、すぐに手を差し伸べるのではなく、あえて待つ場面を大切にしています。困っているように見えるときほど、「きっと考える力がある」と信じて見守ることも、教育の一つだと考えています。それは決して放任ではなく、子どもの成長を信じるという姿勢です。

「する自分」は、学校だけで育つものではありません。ご家庭や地域、そして学校が同じ願いをもって子どもたちを見守る中で、少しずつ育っていくものだと思います。朝のあいさつや廊下や教室での何気ないやりとりの中に見える子どもたちの姿に心を動かされることも多く、そうした一つ一つの場面を大切にしながら、「する自分」を次の学年へと手渡していけたらと思います。

豊岡市立田鶴野小学校 校長 宮田 温

○「ありがとうの日」(※)は感謝を伝える日

毎月11日(人に等しい)は「ありがとうの日」。本校では、身近な人へ感謝の気持ちを伝える取組を毎月行っています。

友だちや家族など、相手の存在や思いを大切に、言葉にして伝えることは、人権を考える第一歩です。子どもたちは「ありがとう」を紙に書き、廊下の「ありがとうの木」に貼っていきます。

感謝の言葉が集まり、思いやりに満ちた学校になることを願っています。

(2月は11日が祝日のため、10日に前倒ししています)



日	曜	2月の主な行事
3	火	入学説明会 新1年生学級役員選出会議
4	水	職員会議
5	木	薬物乱用防止教室(6年)
6	金	全校朝会 委員会活動 職員定時退勤日
9	月	モンゴル博物館出前授業(1・2年)
10	火	ありがとうの日(※)
11	水	建国記念の日
12	木	ふれあいタイム
13	金	児童集会 コミュニティおりがみ教室(2年) 職員定時退勤日
14	土	オープンスクール
16	月	振替休業日
17	火	お琴の演奏鑑賞会(4年)
18	水	お話しはいたつ便 体験入学会
20	金	児童会引継ぎ式 職員定時退勤日
23	月	天皇誕生日
25	水	ミニ鞆贈呈式 演劇ワークショップ(1・2年)
26	木	子どもを守る安全対策会議 学校運営協議会
27	金	職員定時退勤日
※職員定時退勤日を金曜日とさせていただきます。		
※留守番電話設定 学期中 17:00~7:30 長期休業日 16:30~8:00		

☆学校の様子は随時ホームページでお知らせしています。「田鶴野小学校」で検索いただくか、QRコードを読み取ってご覧ください。

HPは【田鶴野小学校】で検索
またはQRコードを読み取ってください。

